

総務建設委員会視察研修報告

○日 時 平成 28 年 7 月 6 日（水）～ 7 月 8 日（金）

○研修先 香川県小豆島町【耕作放棄地対策について（オリーブ関係）】

さいさいきて屋（愛媛県今治市）

【農産物の販売促進について（農産物直売所の概要等）】

広島県三次市【六次産業化の取り組みについて】

株式会社川西郷の駅（広島県三次市）

【「小さな拠点」地域ぐるみの運営体制について】

総務建設委員会では、「魅力あるまちづくり」を主なテーマとして調査研究に取り組んでいます。今回は、「耕作放棄地対策」、「農産物の販売促進」、「六次産業化の取り組み」、「小さな拠点による地域」について、四国・山陽地方の先進地、特徴的地域の視察研修を行いました。

香川県小豆島町 「耕作放棄地対策について（オリーブ関係）」

小豆島町は、古くから瀬戸内海の海上交通の要衝として栄え、オリーブ栽培として百年の歴史がある地域である。

平成 14 年に構造改革特区に認定され、地元企業も栽培に参入しており、市を挙げた取り組みを実施している。農家規模は小規模であるが、多雨でない温暖な気候のためオリーブ栽培に適している。放棄地対策、さらに人口減少対策が特徴である。

さいさいきて屋（愛媛県今治市）

「農産物の販売促進について（農産物直売所の概要等）」

今治市は、古くから瀬戸内海の海上交通の要所として栄え、農産物・海産物が豊富な地域である。

平成 12 年に「さいさいきて屋」の名称で農産物直売所を開設。コンセプトは「朝採り新鮮野菜の地産地消」。開業初年から計画以上の売り上げを達成。農園も併設し、指導などをおこなうことにより新規農業者の増加にも取り組んでいる。来店客 1 日 3 千人のスーパーとなっている。

広島県三次市 「六次産業化の取り組みについて」

三次市は、自動車道、国道、ＪＲが交差している流通の拠点となる地域であり、農業経営としては３反未満の小規模な兼業農家が多い地区である。

農産物の生産から販売をつなぐ施設として農業交流連携拠点（トレッタ三次）を平成 27 年開設。既存加工品の生産拡大など六次産業化を図り、生産者と消費者の交流、農家所得向上を目指している。

榑川西郷の駅（広島県三次市） 『「小さな拠点」地域ぐるみの運営体制について』

榑川西郷の駅は、三次市中心部から約 15km 離れた中山間農村地帯で、人口約 1,100 人という川西地区にある。

この川西地区は、人口の急減に対するコミュニティ整備に取り組んでおり、各種団体を統合し、住民出資による複合型機能を持った法人（株式会社）を設立した。郷の駅設置、空き家調査、独居老人対応等、住民の安全・安心の拠点づくりを進めている。

今回は、研究テーマの「魅力あるまちづくり」について、大変参考となった視察研修を実施することができました。今後も、委員会として市民の意見を聞きながら、更に勉強を重ね、当局へ提言をしていきます。



香川県小豆島町での研修風景



榑川西郷の駅（広島県三次市）での研修風景